

機器利用室の新しい試験装置

機器利用室（開放試験室）では、中小企業の皆様が行う製品の開発や安全性確認のために必要な各種試験装置を設置しています。このたび、主に電子部品の環境試験に用いられる試験装置が導入・更新されましたので、ご紹介します。

落下衝撃試験装置

落下衝撃試験装置は、衝撃波形を発生させて試料台に取り付けられた試料にその衝撃波を印加するものです。

コネクタを例にとれば、落下衝撃による接続部への影響を確認できます。



図1 落下衝撃試験装置
試験可能加速度：30G 50G 100G
試料寸法：W230×H230×D230以下

恒温恒湿槽

この恒温恒湿槽の特徴は、槽内の前面がガラスであるため、試料の状態を外部から観察できることです。



図2 恒温恒湿槽
温度範囲：-40~90℃ 湿度範囲：20~98%rh
テストエリア寸法：W960×H960×D800

冷熱衝撃試験装置

冷熱衝撃試験装置は試料を低温・高温にさらして、試料の劣化状態を確認することができます。プリント基板の変色、接着部の剥離などの検査が可能です。



図3 冷熱衝撃試験装置
低温さらし温度：-70~0℃
高温さらし温度：60~200℃

結露サイクル試験装置

結露／乾燥状態を繰り返すことによって、ノートパソコンや携帯電話などの腐食、誤動作の評価試験を行うことができます。

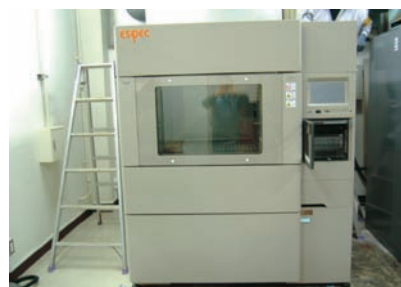


図4 結露サイクル試験装置
テストエリア寸法：W410×H960×D370

機器利用室は、機器利用のほかに技術相談も行っています。ご利用をお待ちしています。

機器利用時間：午前9時から午後5時まで（事前の予約により、午後8時まで利用延長可能）

夜間の無人連続運転につきましては、担当者にご相談ください。

事業化支援部 製品化支援室 <西が丘本部>

石井清一 TEL 03-3909-2151 内線 301

E-mail : ishii.seiichi@iri-tokyo.jp